

子どもたちの学びを応援！

Osaka city Education Network

OENニュース

OEN(Osaka City Education Network)ニュースでは、OENに関わる各校園の取組や、子どもたち・教職員の学びを応援して下さっているOEN登録者のみなさまが感じた、取組後の感想や学校園と連携する意義、やりがいなどをお届けします。

学校が取り組む「探究的な学習」にご協力のうえ、伴走支援いただいた天王寺動物園様に、取組の感想等を伺いました。

1

学校が取り組む「探究的な学習」に協力することを決めた理由を教えてください。

最初に学校からお話をいただいたときは、子どもたちが作ったポスターなどの成果物を園内に掲示してほしいという内容だったため、一度はお断りしました。その後、改めて「一緒に授業を組み立ててほしい」というご相談をいただき、近隣の教育施設同士というつながりからも、子どもたちの教育活動に協力することを決めました。



2

「探究的な学習」に協力してよかったと感じた子どもたちや教員の様子を教えてください。



担任の先生から、「放課後にインターネットで情報を調べたり、動物の様子をより詳しく知るために家族と来園して観察したりした児童がいた」というお話を伺ったことが、印象的でした。授業時間だけでなく、「もっと詳しく知りたい」という知的好奇心から、子どもたち自身が主体的に探究的な学習を進めている姿を見て、学校と園が一緒に授業を組み立てて、取り組むことの深い意義を実感しました。

3

学校教育に協力することへの、企業としてのメリットを教えてください。

教育施設である当園が学校と連携し、授業設計に関与することは、今後当園が行う教育活動へ成果を還元できるという点で大きなメリットだと考えています。

また、授業を通じて子どもたちが当園に親しみをもってくれたこと、そして近隣の児童が動物園を応援している姿を発信できたことは、地域とのつながりを市民の皆様へ広く伝える絶好の機会となりました。これらはいずれも、学校と連携して取り組めたからこそその成果であると実感しています。



4

学校に協力するにあたり工夫された点や、ご苦労された点を教えてください。



学校との連携を進めるには、先生方と施設担当者の双方が熱意をもって向き合うことが何より大切だと感じました。お互いのメリットを丁寧に整理し、分かりやすく形にできるよう、担当の先生とは何度も打ち合わせを重ねました。現在の探究的な学習は、熱心な一部の先生方の尽力に支えられている側面が大きいように感じています。教育業界全体で推進体制を整えることができれば、今回のような取組をより広く定着させることができると感じています。